

令和3年度 事務部

自己点検・評価報告書

令和4年3月

富山短期大学 事務部

番号	点検項目名	認証評価(第三評価期間)			記載の有無(○×)	記載箇所(各報告書での記載ページの最初を記入) ■は記載すべき部署								
		基準	テーマ	区分		教務部 (地域連携・入試広報含む)	学生部	事務部	食栄	幼教	経情	福祉		
25	教員組織	Ⅲ 教育資源と財的資源	A 人的資源	1 学科・専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいて教員組織を整備している。	×									
26	教育研究活動			2 専任教員は、学科・専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいて教育研究活動を行っている。	×									
27	事務組織			3 学生の学習成果の獲得が向上するよう事務組織を整備している。	○			1						
28	人事・労務管理			4 労働基準法等の労働関係法令を遵守し、人事・労務管理を適切に行っている。	○			1						
29	物的資源の整備、活用		B 物的資源	1 学科・専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいて校地、校舎、施設設備、その他の物的資源を整備、活用している。	○			1						
30	図書館活動			図書館活動	×									
31	施設設備の維持管理			2 施設設備の維持管理を適切に行っている。	○			1						
32	技術的資源		C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源	1 短期大学は、学科・専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいて学習成果を獲得させるために技術的資源を整備している。										
33	財的資源		D 財的資源	1 財的資源を適切に管理している。				2						
34	財政上の安定確保			2 日本私立学校振興・共済事業団の経営判断指標等に基づき実態を把握し、財政上の安定を確保するよう計画を策定し、管理している。	○			2						
35	理事会等の管理体制	Ⅳ リーダーシップとガバナンス	A 理事長のリーダーシップ	1 理事会等の学校法人の管理体制が確立している。	○			2						
36	教授会等の教学体制		B 学長のリーダーシップ	1 学習成果を獲得するために教授会等の短期大学の教学体制が確立している。										
37	監事の業務		C ガバナンス	1 監事は寄付行為の規定に基づいて適切に業務を行っている。	○			3						
38	評議員会の開催			2 評議員会は寄付行為の規定に基づいて開催し、理事長を含め役員の諮問機関として適切に運営している。	○			3						
39	情報の公表・公開			3 短期大学は、高い公共性と社会的責任を有しており、積極的に情報を公表・公開して説明責任を果たしている。	○			3						

1 事務組織

(1) 根拠資料

学校法人富山国際学園事務組織規程

(2) 現 状

令和2年度に専任の事務職員を配置する事務組織を、庶務課、会計課、教務入試課、学生支援課及び就職支援センターの4課1センター体制に組織改編を行った。

(3) 課 題

特になし

(4) 特記事項

特になし

(5) 改善計画

特になし

2 人事・労務管理

(1) 根拠資料

富山短期大学就業規則

(2) 現 状

次世代育成支援対策法に基づく一般事業主行動計画を定め、教職員全員が働きやすい環境づくりに努めている。

(3) 課 題

国の働き方改革を踏まえた労務管理に取り組む必要がある。

(4) 特記事項

特になし

(5)改善計画

時間外勤務削減、年次有給休暇の取得促進を進める。

3 物的資源の整備、活用

(1) 根拠資料

学園及び短大 HP

(2) 現 状

校地、校舎、施設設備、その他の物的資源の整備については、ほとんどできない状況にある。

(3) 課 題

学生数の減少に伴い、収益力が低下しており、当分の間、物的資源の拡充は困難な状況にある。

(4) 特記事項

特になし

(5) 改善計画

財務状況を踏まえ、物的資源の整備等を努める。

4 施設設備の維持管理

(1) 根拠資料

学園及び短大 HP

(2) 現 状

法定又は機能維持上必要なレベルの維持管理を行っている状況にある。

- (3) 課 題
学生数の減少に伴い、収益力が低下しており、施設設備の維持管理水準の向上が困難な状況にある。
- (4) 特記事項
特になし
- (5) 改善計画
財務状況を踏まえ、施設設備の維持管理に努める。

5 財的資源

- (1) 根拠資料
学園及び短大 HP
- (2) 現 状
安全な資金運用に努めている。
- (3) 課 題
金利水準が低く、得られる果実が低水準にとどまっている。
- (4) 特記事項
特になし
- (5) 次年度の実施計画
引き続き安全な資金運用に努める。

6 財政上の安定確保

- (1) 根拠資料
学園及び短大 HP
- (2) 現 状
短大単独では、平成 29 年度、同 30 年度と連続して当年度収支が赤字に転落したほか、平成 30 年度には経常収支が赤字となったが、令和元年度、同 2 年度はいずれも黒字となった。
- (3) 課 題
短大入学者数が長期低落傾向にあることを踏まえると、教職員数の適正化などを検討していく必要がある。
- (4) 特記事項
特になし
- (5) 次年度の実施計画
引き続き教職員数の適正化などを図っていく。

7 理事会等の管理体制

- (1) 根拠資料
学園 HP
- (2) 現 状
予算及び決算の審議のほか、寄附行為等の改正など、必要に応じて開催している。
- (3) 課 題
特になし
- (4) 特記事項
特になし

- (5) 改善計画
特になし

8 監事の業務

- (1) 根拠資料
学園 HP
- (2) 現 状
監査業務に従事するほか、理事会等にも出席している。
- (3) 課 題
特になし
- (4) 特記事項
特になし
- (5) 改善計画
特になし

9 評議員会の開催

- (1) 根拠資料
学園 HP
- (2) 現 状
予算及び決算の審議のほか、寄附行為等の改正など、所要の諮問を行っている。
- (3) 課 題
特になし
- (4) 特記事項
特になし
- (3) 改善計画
特になし

10 情報の公表・公開

- (1) 根拠資料
学園及び短大 HP
- (2) 現 状
所定の情報については、ホームページで公開している。
- (3) 課 題
現状水準を維持していく必要がある。
- (4) 特記事項
特になし
- (5) 改善計画
特になし